
一 般 質 問 通 告 書

(通告者 15名)

平成23年裾野市議会6月定例会

目 次

6月16日(木)

1	二ノ宮 善明	議員	1 P	
2	大庭 敏克	議員	2 P	～ 3 P
3	三富 美代子	議員	4 P	～ 5 P
4	岩田 広行	議員	6 P	～ 7 P

6月17日(金)

5	賀茂 博美	議員	8 P	～ 10 P
6	渡部 昭三	議員	1 P	～ 12 P
7	杉本 和男	議員	13 P	～ 14 P
8	内藤 法子	議員	15 P	～ 17 P

6月20日(月)

9	佐野 利安	議員	18 P	
10	小澤 良一	議員	19 P	～ 20 P
11	芹澤 邦敏	議員	21 P	～ 22 P
12	岡本 和枝	議員	23 P	

6月21日(火)

13	勝又 明	議員	24 P	
14	二見 榮一	議員	25 P	～ 26 P
15	土屋 秀明	議員	27 P	～ 28 P

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>1. 二ノ宮善明</p>	<p>(1) 事業の遅れであるマイナス要因の新たな削減手法はどのようなものが考えられるか。</p>	<p>市 長</p>
<p>1 裾野駅西土地区画整理事業について</p>	<p>(2) 住民の負担感を減らすための施策と、スピード感をもって取り組むための具体策はどのようなものが考えられるか。</p>	<p>市 長</p>
<p>2 危険な信号機の改善について</p>	<p>事故が多発している西地区の大型ショッピングセンター西側出口の信号機について、警察との協議の進捗状況はどうか。</p>	<p>市 長</p>
<p>3 今回の大震災のような有事の際の避難誘導について</p>	<p>今回の大震災では多くの消防団員の尊い命が失われました。</p> <p>(1) 消防団員が持っている『自分達の郷土は自分たちで守る』という概念の中に『選択的救済』を加えたとした場合の消防最高責任者であります市長の見解をお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 最終避難誘導はどうすればよいのでしょうか。</p>	<p>市 長</p>
<p>4 裾野市の被災地支援とボランティア支援について</p>	<p>(1) 裾野市と災害時相互応援協定を結んでいる被災地への支援とその他の被災地への支援の違いをどう考えたらよいのか『裾野市東北地方太平洋沖地震災害支援等対策本部』本部長の見解をお聞きしたい。</p> <p>(2) 被災地への復旧・復興に携わるボランティアに裾野市として、どのような支援計画をお持ちなのか、お聞かせ下さい。</p> <p>(3) 『東北地方太平洋沖地震に伴う被災地救援等のために使用する車両の取り扱いについて（依頼）』についての裾野市の対応は。</p>	<p>市 長 副 市 長 教 育 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>2. 大庭敏克</p>	<p>(1) 現在までの経緯と既存施設の現況と今後について</p> <p>(2) 裾野市内から市外施設の入居の状況について</p> <p>(3) 就労継続支援 B 型「みどり作業所」入所の対応について</p> <p>(4) 施設基準の内容と耐震関連規則について</p> <p>(5) 公設民営対応と経済的負担の軽減、補助金、交付金の対応について</p> <p>(6) 現在、建設中の障害者福祉施設完成予定の「みどり作業所」の通所者の対応人数と待機者について</p> <p>(7) 既設建築物の借用及び改築後の設置をすべきと考えるが方向性をお伺いしたい。</p>	
<p>1 障害者用共同生活援助事業 (グループホーム事業)設置 について</p>		<p style="text-align: center;">市 長</p> <p style="text-align: center;">健康福祉部長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 消防救急広域化について	<p>(1) 基本方針に基づく移行時、通信司令施設統合時のデジタル化（平成 28 年 5 月まで）について</p> <p>(2) 法定協議組織（23 年中）参加の意思表示の時期と消防運営計画の策定の時期について</p> <p>(3) 関係市町議会の議決（平成 24 年度）と対応について</p> <p>(4) 構成市町の決定の時期と御殿場市、小山町との組合せ又は単独での取組みについて</p> <p>(5) 人員配備の効率化と充実、経費節減の内容について</p> <p>(6) 通信統合、共同整備、消防救急無線デジタル化整備の時期と費用負担について</p> <p>(7) 国、県の費用負担と補助金交付について</p> <p>(8) 一部事務組合移行に伴う職員数の減員及び組織変更について</p>	<p>市 長</p> <p>消 防 長</p> <p>総務部長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 医療費の負担軽減について</p>	<p>毎年増加傾向にあります医療費の抑制が、国や地方自治体にとって大きな課題となっております。増大し続ける医療費抑制策の一つとして、厚生労働省の指導でジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及が進められております。</p> <p>日本ではジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及は、数年前まで2割にも満たない状況が続き、高い普及率の欧米先進諸国に大きな遅れをとっている状況です。</p> <p>急速に進む少子高齢化で医療費の増大の一途をたどる中、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用が進めば、それだけ患者の負担軽減と医療保険財政の改善に効果があると考えます。</p> <p>(1) 当市における医療費の抑制策について、今後どのような方策をお考えですか。市長のご見解を伺います。</p> <p>(2) 医療費の中で、薬剤費の割合の推移について伺います。</p> <p>(3) ジェネリック医薬品による薬剤費削減効果について、ご見解を伺います。</p> <p>(4) 当市において、ジェネリック医薬品の普及促進の現状について伺います。</p> <p>(5) ジェネリック医薬品の普及促進策として、「希望カード」の配布を実施しては如何ですか。市長のご見解を伺います。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>4. 岩 田 広 行</p>	<p>まちづくりの指針とまちの将来像を基本理念として定め、目的・実行・検証・改善の積み重ねを重視する行政経営型・目的志向型の行政運営計画として基本構想を策定する中で、歳入・歳出状況を伺う。</p> <p>(1) 3か年の財政力指数では、20年度 1.60634、21年度 1.36690、22年度 1.02018である。将来負担比率は極めて小さいものの、財政調整基金の取り崩しと臨時財政対策債での対応では、限界がある。今後の10年を見据え、財政の健全化にどう対応していくつもりか伺う。</p> <p>ア 目的別歳出の状況より、以下の点を伺う。</p> <p>(ア) 住民の満足度を図る一つの指標として、目的別歳出を見ると、裾野市は住民のためにどこの分野を充実させてきたのか伺う。</p> <p>(イ) 上記の分野のどんな施策に、住民は満足しているのか伺う。</p> <p>(ウ) 平成13年度から、平成21年度までで、歳出状況の構成比の変化が大きい区分費は何か、また変化が大きい理由を伺う。</p> <p>イ 性質別歳出の状況より、下記の点を伺う</p> <p>(ア) 財政運営上、経営手腕の発揮が期待される場所であるが、裾野市では経済的に見て、どんな特色を持って財政運営されてきたのか伺う。</p> <p>(イ) 投資的経費のうち、普通建設事業費は、平成13年からの経年で見ると、区分決算額構成比の30パーセント前後で推移していたが、近年の財政状況から20パーセント代前半まで落ち込んでいるものの、類似団体比較によると、それでも倍の決算構成比になっているのはどうしてか伺う。</p> <p>(ウ) 一部組合負担金以外の補助費等は、何に使われて来ているのか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>5. 賀 茂 博 美</p>	<p>この時期、市内の歩道ではアスファルトの割れ目から、また街路樹の植え込み、そして公園や河川などにも雑草が生い茂っております。霊峰富士のもっとも美しく見えるまちとして、残念に感じています。</p> <p>美しい街並みを行政のみで維持していくことは難しいことと考えます。自分達のまちを自分達で管理していくパートナーシップ（協働）によるまちづくりが必要と考えます。</p> <p>そこでお伺いいたします。</p> <p>(1) 市民または事業所への支援は、現在どのような事業を行っていますか。</p> <p>(2) 街並みの美化に対し、市民または事業所への理解および協力を促すためにどのような取り組みを行っていますか。</p> <p>(3) 行政の支援として、身障者福祉施設や各種団体などから花の苗等を購入し、身近な生活道路の植栽を行ってくれる方へ提供するなどを行ってはいかがでしょうか。</p> <p>(4) 市民や事業所が活動しやすい環境づくりについて、どのように考えておりますか。</p> <p>(5) ある地区では市民協働で公園管理が行われています。年2回の公園清掃を行っておりますが、区民のふれあいの機会としても活用されております。公園管理の方法として、モデルケースになるのではないかと考えます。これからの市民協働の形として理想的な形だと思われませんが、これから推進していくには、なんらかの行政の支援が必要と考えます。いかがお考えでしょうか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 東日本大震災の教訓を受けた防災教育の取り組みについて</p>	<p>東日本大震災の教訓を受け、防災教育の取り組みが見直されています。</p> <p>今回の大津波では「釜石の奇跡」と言われている「避難3原則」を守り抜いた子ども達の奇跡がマスコミにも取り上げられました。日頃からの防災教育が、児童のみならず、地域住民の命をも救ったのです。裾野市においても東海地震・富士山噴火などの災害がいつおきてもおかしくない状況にあります。今、改めて自らの安全を確保できるために行動できるよう、さらには進んで他の人々や地域の安全に役立つことができるなどの、防災対応能力を養う防災教育が必要と思われまます。</p> <p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校に対して</p> <p>ア 災害に関する知識の取り込みはどのようにされているのか。</p> <p>イ 防災教育の現状について</p> <p>ウ 防災教育に対する評価をどのようにされているのか。</p> <p>エ 防災教育に関する教職員の研修等はどのようにされているのか。</p> <p>オ 防災訓練の現状と課題は。</p> <p>(2) 地域・市民に対して</p> <p>ア 防災教育の現状について</p> <p>イ 防災訓練の現状と課題は。</p> <p>(3) 学校・地域・行政との連携はどのように行われているのか。</p> <p>(4) 東日本大震災の教訓を受け、さらに強化が必要と思われる課題はありますか。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 議会フロア的环境整備について</p>	<p>現在、議会改革等特別検討委員会では、開かれた議会・市民に見える議会を目指し、議会改革に向け検討が行われています。現状は、4つの改革の柱を二分し、2グループによる検討が行われています。柱の1つである『市民への情報公開の推進』では、議会の傍聴促進を図るためにも、傍聴に訪れやすい環境づくりの必要性等が話し合われています。</p> <p>また、議会フロアの設備関係についてのご見解をお伺いいたします。</p> <p>(1) 車椅子の方または子連れの方でも、気軽に傍聴できる環境の必要性についてのご見解を伺います。</p> <p>(2) 地方自治法第100条第18項では議会の図書室の附置を、第19項では図書室を一般に利用させることができることの記載があります。現状の議会フロアでの図書室の整備について、どのように考えていますか。</p> <p>(3) 情報化社会である今日、調査・研究および議会活動の充実を図るため、パソコンによるインターネットの使える環境が必要と考えます。検討していただけないでしょうか。</p> <p>(4) 市民との会談、相談等の行える場所の整備を検討していただけないでしょうか。</p> <p>(5) 節電及び経費の観点から、議場の照明を消費電力の少ないLEDに変更してはいかがでしょうか。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 高齢者支援と社会参加の促進について</p>	<p>(1) 高齢者支援について 長い職業人生の転換点を迎えている「団塊の世代」の皆さんが地域に帰ってこられています。長い社会生活で培ってこられました豊富な経験と知識や技術力等を地域で活用していただければ、地域活力の活性化につながると考えますが、高齢者の支援対策について、市当局の考えを伺う。</p> <p>(2) 高齢者の社会参加の促進について 新年度が始まると、各種団体の総会が開かれます。地区老人クラブ総会においても、議員として出席させていただいておりますが、その中で、老人クラブの会員数の減少や休眠クラブが出ているとのお話を聞いております。 「団塊の世代」の方々が、高齢者となって地域に戻っておられます。その方々に住み慣れた地域で安心していきいきと生きがいの持てる生活を送っていただきたいと考えます。 そこで、老人クラブの充実と発展のため、今後の施策と課題について、市当局の考えを伺う。</p>	<p>市 長</p>

質問議員 質問事項	質問の要旨	答弁要求者 職名
7. 杉本和男		
<p>1 富士山世界文化遺産センター受け入れについて</p> <p>2 防災対策について</p>	<p>平成 20 年 2 月（3 年前）、富士宮市長がプレス会見にて、富士山世界文化遺産センター誘致構想を発表され、その後平成 21 年、石川前県知事が、富士山世界文化遺産センター構想を発表しました。</p> <p>平成 22 年 9 月、県議会において、勝又前県議が富士山世界文化遺産センター構想について、川勝県知事に質問されました。答弁は、われわれの英知を結集してこのセンターの実現に向けて推進してまいりたいと思っています、ということで、大変積極的な答弁であります。</p> <p>なお、世界遺産登録に向けて、7 月末、文化庁へ推薦書原案を提出。来年 2 月に国がユネスコへ推薦書の提出予定であります。</p> <p>(1) 受け入れについて、どのようにお考えですか。</p> <p>(2) 受け入れるとしたら、どのような活動が必要と思いますか、伺います。</p> <p>3・11 に発生した東日本大震災により、防災対策に対する見方が変わってきていると思います。国、県においては、鋭意検討中のことと思いますが、当市の現状と課題についてお伺いします。</p> <p>(1) 防災訓練について 例年 9 月 1 日の防災の日は、行政主体で自主防災会については役員の一部が参加し、また、12 月第 1 日曜日の自主防災会全体の訓練には、行政は参加していない現状だと思えます。以下伺います。</p> <p>ア 現況をどのように考えますか。</p> <p>イ 災害を想定する中で現実的な総合訓練が必要かと思えます。（市全体と他に関係する組織を含めた訓練）</p> <p>ウ 自主防災会が訓練計画を提出していると思えますが、チェックや指導はしていますか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
	<p>(2) 耐震化について</p> <p>ア 公共施設の耐震化率は。(橋梁についてはわかる範囲)</p> <p>イ 地域における公民館、集会所の耐震化率は。</p> <p>ウ 一般家庭及び建築物の耐震化率は。</p> <p>エ 液状化や災害の起こりやすい場所について把握していますか。</p> <p>オ 今後の指導は。</p> <p>(3) 発災後について</p> <p>ア 避難所の停電、断水対策は。</p> <p>イ ボランティアコーディネーターの育成は。</p>	

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>8. 内 藤 法 子</p>	<p>未曾有の東日本大震災のショックから、立ち直れない状況下、全国の自治体では、自分の街を自分で守る為に、地域防災計画の見直し作業を緊急課題に点検作業が始まっています。</p> <p>東日本大震災発災後、裾野市長の、災害協定の相馬市・龍ヶ崎市へ早速の支援がとても喜ばれ、有益であった事に敬意を示します。復旧支援の中で、現場の惨状をご覧になり、裾野市の総合防災への備えに対する新たな取り組みの覚悟をお感じになっている事と存じます。</p> <p>これまでの東海地震の予測地震規模は、M8. 阪神淡路大震災の30倍の規模と見込まれています。裾野市では震度6弱・強以上。死者20人。重傷者187人。軽傷者675人。建物大破651戸 中破1,656戸 一部損壊1,876戸（平成7.10.1見積もり）の予測の中で防災への備えを進めて参りました。</p> <p>しかし、自然の猛威にさらされた今回の大災害では、想定外の言葉が連発されています。市民の命を守る、より安心・安全な防災対策を目指して以下お伺い致します。</p> <p>(1) 現地への救援活動を通じて、裾野市の総合防災の検討課題は。</p> <p>(2) 地域防災計画（21年度修正）の見直し作業は具体的にどう取り組んでいくか。</p> <p>(3) 防災拠点の点検、対策本部、広域避難所、救護所、自衛隊活動拠点、物資集積所、ヘリ発着所、避難所等、現状問題はないか。</p> <p>(4) 被災後の輸送路の確保。道路の復旧の為の施策。</p> <p>(5) 防災無線を補完する為に防災ラジオの導入が有効と考える。</p> <p>(6) ボランティアセンターは、社会福祉協議会に委託した現状で充分機能できるか。</p> <p>(7) 自主防災会を軸とした、地域力の向上、防災意識の向上をどのように図るか。</p> <p>(8) 災害時要援護者への対応は充分配慮されているか。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁要求者 職 名
<p>2 エネルギー転換のための裾野市の対応</p>	<p>浜岡原発の操業停止に伴い、国はエネルギーの転換を迫られています。7月から再開見込みの計画停電等を踏まえて、裾野市はクールビズを前倒しして実践して行動を起こしていますが、各自治体でも、もっと踏み込んだ政策が検討されています。そこで、裾野市の特徴を生かした復興支援のエネルギー転換対策を伺います。</p> <p>(1) 静岡県は休耕田や耕作放棄地を活用したメガソーラーの設置に向け協議会を立ち上げる。裾野市としての貢献はどのように考えるか。</p> <p>(2) 裾野市では官民協力して取り組める節電対策はどのように進めるか。</p> <p>(3) 自動車関連企業が、7月から木金休みに変更。それに伴う幼稚園、保育園の対応はどうか。</p>	<p>市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>3 消費者センターの機能充実</p>	<p>消費者センターは、消費者基本法に基づき、裾野市消費センター設置要綱で市民の消費生活の安定と向上を図るために設置されている。消費や生活に関するトラブルや対策方法、特に、悪質商法や不当請求をはじめとして、債務整理や自己破産など多岐に渡り時代を先取りした事例解決に向き合っている。</p> <p>消費者問題の重要性から消費者庁が誕生して以来の国・県・市に於ける消費者行政の推進状況を調べてみました。国は、平成20年度第2次補正予算及び平成21年度補正予算で地方消費者行政活性化交付金を創設。県はこれを受けて消費者行政活性化基金9億3,000万円を設置。この基金を原資として市の消費者センターの機能強化を行っています。また、昨年12月に住民生活に光を注ぐ交付金1,000億円の措置で、片山総務大臣が、自治体が本来住民の皆様にとって非常に重要な行政分野だけでも光が当たってない分野に光を当てると消費者センターの経費を事例にあげ具体化された住民生活に光をそそぐ交付金として裾野市へ550万円が配分されたところであります。</p> <p>厳しい財源不足の中、今回の国・県の財源手当ては画期的でした。積極的な活用で、裾野市の消費者センター充実を期待を大きくしていました。しかし国の住民生活に光を注ぐ交付金は消費者センターに活用できず非常に残念に思っていました。残るチャンスは県の消費者活性化基金。これは21年～23年の3カ年。活用の期限が迫っています。消費者基本法の趣旨を実行する為に貴重なチャンスを逃すことなく裾野市の消費者行政の飛躍的な推進に取り組んで頂きたいと切に願い、以下質問致します。</p> <p>(1) 平成22年4月に静岡県は消費者行政推進基本計画を公表。これを受け裾野市の消費者行政の展開はどのように考えるか(国・県・市のスムーズな連携は取れているか)</p> <p>(2) 暮らしのセンターから消費者センターへ名称変更から2年。消費生活相談と相談体制の状況は。</p> <p>(3) 地方行政活性化基金を積極的活用し、どのように事業展開するか。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>9. 佐野利安</p>		
<p>1 消防の危機管理対策について</p>	<p>(1) 消防救急広域化についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 消防危機管理及び市民の安心・安全のための消防職員定数増員についてお伺いしたい。</p> <p>(3) 消防本部警防課の増課についてお伺いしたい。</p> <p>(4) 災害対策について ア 職員の動員体制（勤務時間内、勤務時間外）についてお伺いしたい。</p> <p>イ 医療、救護体制の確認について</p> <p>ウ 地震及び災害時に備えての広報活動について</p> <p>エ 災害応急対策等に必要な資機材の保有状況・点検の有無について</p> <p>オ 避難場所に職員を何名配置するのか。</p> <p>カ 食料・生活物資等、備蓄品は何人分確保しているか。また、地域拠点の状況をお伺いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 各区への支援体制について</p>	<p>各区の防犯灯を環境に優しく、電気代の安いLED灯に取り替えるお考えがあるかお伺いしたい。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>10. 小 澤 良 一</p>	<p>3・11東日本大震災、3・15富士宮震源地地震はこれまでの震災に対する備えを大きく替える事を提起している。以下、行政当局の考えを伺う。</p> <p>(1) 東海・東南海・南海地震の3連動地震が起きる事を考えての地震の備えに対する見直しを、どこをどのようにしていくことが必要と考えているのか、又、それに伴う施策を伺う。</p> <p>(2) 地震に伴う危険箇所の周知を市民にする必要はないのか。例えば液状化や土砂崩れ、そして地割れの危険性について。地震の際の対応をどうしていくのか。</p> <p>(3) 3月15日の富士宮を震源とする地震で市内ではどのような被害が起き、その状況をどのように把握されているか伺う。そこから地震に対する備えの必要性はなにかを伺う。 住宅の耐震化助成の上積みと住宅リフォーム事業の創設。ブロック塀の点検と除去費用の助成見直しを考えてはどうか。助成額の一定額は地域商品券で地域経済の消費に使う様にする。</p> <p>(4) 東京電力福島原子力発電所の事故で放射能の影響が健康や地域経済、生業そして子どもの教育、人が生きていくことに様々な影響を及ぼすことが報じられている。これは原発を抱えている静岡県民も対岸の出来事として傍観している事態ではない。中部電力浜岡原子力発電所は運転中止をしているが、東海地震の震源域に存在する原発として廃炉すべきとの声と運動が行われているが、市民の安心安全を重視する市長の考えを伺う。又、節電を今年だけでなく今後も市民に求められる中、住宅の節電対策として消費電力が少ないLED電灯の切り替えの助成措置を講じてはどうか。助成額は地域商品券として地域経済の消費に活用する。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
2 駅西区画整理事業の見直し	<p>「公共空間」を造るために行われている裾野駅西周辺区画整理事業は、納税者の立場から「使える建物を壊して、広い道路を造る事業が必要なのか」の声は少なくない。</p> <p>(1) 財政状況を考慮して、これまでの事業を検証することが行われているがその結果について議会に報告するとしているが、その内容を伺う。</p> <p>(2) 11年度（平成23年度）事業でこれからの事業費算出業務委託がされているがその業務委託の内容を伺う。</p> <p>(3) 駅舎自由通路概略設計委託で30億円事業と報告されているが、その内容を伺う。</p> <p>(4) 駅舎自由通路は区画整理事業当初事業費190億円に含まれているのか、それとも別事業費か伺う。</p> <p>(5) 財政状況も当然ながら、市民のためにどうしてもやらなければならない事業ではない駅舎自由通路事業は止めるべきであるが、どうしてもやる事業だとする考えを伺う。</p>	市 長
3 公共交通空白区域の交通対策は	<p>(1) 裾野市地域公共交通会議で、公共交通空白区域の交通対策が議題として協議されないのはなぜか伺う。</p> <p>(2) 公共交通空白区域解消のための公共運行に費用は必要であるが、「すその一」の無料乗車可能対象者に乗車料金意向調査はどのように考えているか伺う。また、財源は市民協働による協力で費用節減、経費の見直しで財源を生み出すことができると考えているがどうか。</p>	市 長

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>1 1. 芹 澤 邦 敏</p>	<p>東日本大震災による福島原発、浜岡原発の停止による夏場の電力需給不足に対応するべく、日本自動車工業会では、休日を輪番制にすることにより、夏場の平日の電力需要ピークを17～21%抑制すると決めた。これにより、自動車関連企業は、7～9月にかけて、電力使用料の少ない土、日休みから、平日の木金休みにカレンダー変更を決定した。こうした産業界の動きを踏まえ、国の厚生労働省より各地方自治体に対し、利用者ニーズの把握と実施体制の確保について通達が出され、その対応が図られています。</p> <p>裾野市においても対象企業が多く、市民への影響が予測される中、こうしたリスクへの市の対応を伺う。</p> <p>(1) 就学前の幼児を持つ共稼ぎの家庭について、保育園の日曜対応について</p> <p>(2) 小学校低学年の児童を持つ家庭について、学童保育の日曜対応について</p> <p>(3) 介護を必要とするお年寄り、ハンディを持つ家族を持つ家庭について、介護施設、市外への特別支援学校へ通っているケース等の対応について</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 中小企業支援対策の拡充について</p>	<p>総務省が5月31日発表の労働力調査によると、4月の完全失業率は4.7%となり、6ヶ月ぶりに前月から0.1ポイントの悪化。一方、4月の有効求人倍率は0.61倍で、前月から0.02ポイント低下し、1年5ヶ月ぶりに悪化した。これには、3月の震災以降、被災地である岩手、宮城、福島の3県は反映されていない。また、国内における企業倒産件数では、2010年度集計で11,500件、負債総額は4兆5,500億円あまりにも上がった。不況型倒産が8割を超え、負債5,000万円未満の小規模倒産が半数を占め、再建型手続きが困難な中小零細企業の破産申請は高水準で推移している。</p> <p>また、今回の震災は、国内景気に大きな打撃を与え、日本経済全体への深刻な影響は長期化の様相を呈している。製造、流通、サービスなど多方面かつ全国的に影響が広がっており、日本経済の屋台骨とも言われている中小企業は今まさに危機に瀕しており、このことは裾野市の経済を支える中小企業においても同様ではないでしょうか。以下伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 名 職
<p>3 ストレス社会に於ける森林セラピー（森林心理療法）の取り組みについて</p>	<p>(1) 市内の中小企業におかれましては、厳しい経営環境に立たされているのではないかと推察いたしますが、当局としましてはどのように認識をされておりますか。</p> <p>(2) 裾野市における中小企業への支援策メニューについて、小口資金利子補給ほかいくつかありますが、支援制度の活用状況はどうか伺います。</p> <p>(3) 過去にも多くの議員から中小企業政策について提起されていますが、第4次裾野市総合計画で重点プロジェクトにもなっている中小企業政策で、第3次計画と比較し特に力点を置いた部分は何か。</p> <p>現代社会においては、様々なストレスを受ける環境にあり、その解消法が求められております。スポーツをはじめ多くのストレス解消法の中で、その一つとして森林浴があります。森林浴という言葉が言われるようになり、四半世紀が経過するそうですが、森林の持つ緑の木々や土の香りといった癒し効果は、自然科学的にも解明が進められ、こうした森林環境を利用して心身の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指したものが森林セラピーです。</p> <p>ドイツをはじめとした欧米諸国では昔から森林セラピーなどの自然療法が盛んで、各地の森林には保養のための施設もあり、行政や研究機関による協力体制も整っている中で、日本国内でも40ヶ所を超える施設が誕生しており、取り組む自治体も増加している。そこで伺います。</p> <p>(1) 裾野市では、これまで取り組んできておりませんが、森林セラピーの健康面における効果をどうとらえているのか伺う。</p> <p>(2) 昨年12月に市の行政経営戦術会議において、こうしたテーマでの講演があったと記憶しているが、今後、裾野市では、森林セラピーに取り組む考えがあるのか伺う。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>12. 岡本和枝</p>	<p>「子ども、子育て新システム」を議論する「幼保一体化ワーキングチーム」が、当初示されていた工程表の通り、6月までに議論をまとめる方向性が示されました。</p> <p>(1) 「新システム」で保育制度が大きく変えられようとしています。</p> <p>① 「直接契約制度」の導入 ② 「保育の必要度」の認定 ③ 「最低基準」の撤廃 ④ 「指定制度」の導入 などが現在議論されています。</p> <p>現在の保育制度と比較して問題点をどのように認識されていますか。 また、保護者や子どもたちへの影響をどのように考えますか。</p> <p>(2) 幼稚園と保育園の「幼保一体化」を先取りする形で2006年に発足した「認定こども園」。新システムの「こども園」は、「認定こども園」をモデルに検討されています。 「認定こども園」についての見解を伺います。</p> <p>(3) 保育、幼児教育関係者などの「新システム」について、現場での議論はどのような意見が出されていますか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 東中学校南側残土処分事件について</p>	<p>昨年6月に「原状回復命令」が出されました。1年経過の現状と今後の対応について伺います。</p> <p>(1) 2ヶ月ほど前から、残土処分地の施工業者の重機が入っています。作業は承諾地を遥かに超えて未承諾地に入っているようですが、この作業の目的、作業の施行方法、作業期間、被害を受けている隣接地地権者の許可等々は市へ報告されているのでしょうか。</p> <p>(2) 見たところ、下から段々形状にして、段々形状の下端部に木材を横置きにしているようですが、これは安全が保障される施工でしょうか。</p> <p>(3) 「原状回復命令」が出された後の「東中学校南側残土処分問題対策委員会（2010年5月21日設置）」の開催日時・回数と討議内容について報告していただきたい。</p> <p>(4) 地域住民が「安心」を得るための今後の市の対応について伺います。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>13. 勝 又 明</p>		
<p>1 第4次裾野市総合計画について（平成23年度重点施策基本方針）</p>	<p>(1) 市民協働の推進について 多様化する市民ニーズに対応していくため、市民協働はこれからの街づくりに必要不可欠であり、早急に具体的な行動により問題対処ができるようにしなければならないと思っている。そのためには（仮）市民協働課を立ち上げ、市民協働の拠点づくりの体制を整えるべきだと考えるがいかがか伺う。</p> <p>(2) 地震防災対策の充実 今回の東日本大震災において、未曾有の被害となった要因は地震に大津波が発生したこと、津波の規模が予想外であったことなどが考えられる。当市においても想定外だからでは片付けられないことが起きることも視野に入れておく必要がある。たとえば豪雨に地震が重なった時のこと、富士山の噴火（大規模）による影響などを考えた対策が必要であると考えたいか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>2 裾野市観光基本計画について</p>	<p>観光基本計画の施策の基本方針は、裾野ならではの魅力の創出、観光資源の多様な連携、スポーツ・健康増進の振興、富士山の裾野のまちなふさわしい景観の形成、食のまちづくりの推進、広域観光ネットワークの構築、観光プロモーションの強化、おもてなしのまちづくりなど8つの基本方針を設定している。</p> <p>(1) 裾野ならではの魅力の創出について ア 森林ウェルネス箱根西麓事業の推進について概要を伺う。 イ 梅の里周辺の（新たな）整備について伺う。</p> <p>(2) スポーツ・健康増進の振興について ア 運動公園内の安らぎ広場や、周辺の芝を利用したグランドゴルフやパークゴルフが快適にできる施設の整備について伺う。</p> <p>(3) この観光計画による税の増収をどのように考えているか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>
<p>3 新たな公共交通システムの確立</p>	<p>すその一（コミュニティバス）と定期路線バスに新たにデマンドタクシー（バス）を組み合わせることにより利便性をさらに高め、市街地の活性化、あるいは高齢者、車を持たない人の移動の手助けになるデマンド方式の導入ができないか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>14. 二 見 榮 一</p>	<p>私は、これまで幾度となく「企業誘致」と「財源確保」について質問をしてきました。このための対策は、はっきり言って何も進んでいないと感じています。反面、社会情勢は、この度、東日本大震災が勃発し、歴史的には明治維新、敗戦、そして、この度の東日本大震災と言っていかなりの節目となる危機であると思います。そんな中、復興に向け日本全体が進んでいます。しかし、種々の企業の被害、計画停電や節電対策、放射能汚染等により、国民生産性の下降、同時に輸出産業にまで相当大きなダメージがあり、そう簡単には日本経済は元に戻らないのが現状であると考えます。それでは、裾野市はどうでしょう。あれだけあった法人市民税は、この震災を考えると、今後当分期待はできません。市民税等の税収も当然下回るであろう。私はあれだけ財源確保のための企業誘致への取り組み、また、行政改革推進等をしないと今後裾野市の財政がやり繰りできなくなると申し上げてきたのに、このような日本の状態では、ますます財源確保に期待ができません。そこで伺います。</p> <p>(1) ファルマバレー（重粒子線治療施設）関連企業誘致について、先般有識者会議の結果が報告されたが、裾野市としては、今後、どのように考えているのか。</p> <p>(2) ファルマバレー構想の中、県立がんセンターを核として、静岡県東部地区のグランドデザインをどのように考えているのか。また、その中で裾野市の位置付けをどのように据えるのか伺う。</p> <p>(3) 裾野市の財源確保に向けて、直ちに行動を起こし、財源確保に向けた方策はあるのか伺う。</p> <p>(4) 今後、裾野市の行政運営を考慮すると、多額の支出が予想される駅西区画整理事業について、改めて全体事業費の見直しを行い、この計画そのものの方向転換を含めた見直しをする考えはあるか伺う。</p> <p>(5) 5地区（東、西、深良、富岡、須山地区）の地理的状況から見て、また、都市計画決定した当時から、時代が変遷している中、市全体の都市計画をどのように考えるか。</p> <p>(6) 遅々として市街化区域に住宅が張り付かないのは、何が原因か、都市計画そのものが時代に合わないのではないか伺う。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
<p>2 特別養護老人ホームの早期建設を</p>	<p>2000年に施行された介護保険制度は、介護の社会化を標榜してスタートした。40歳以上の者が保険料を支払い、世代を超えて介護の必要な人々の生活を支える仕組みである。介護の必要なものが受けられる給付は、要介護1～5段階 + 要支援1、2があり、要介護・要支援の区分に応じた支給限度額が設定され、利用者がサービスを選択できる仕組みである。</p> <p>介護保険制度は、2000年の制度スタート後、介護で苦しむ多くの高齢者の生活を支えてきた。介護保険制度以前の給付は、2.3兆円。介護保険の初年度である2000年には3.6兆円、10年が経過した現在の給付額は7.7兆円と3倍となっている。</p> <p>わが国の高齢化率は年々上昇し、現在では65歳以上の人口が総人口の18.87%に達している。裾野市の高齢化率は平成21年度において、18.24%で、平成26年度は21.43%となる見込である。平成24年以降は、戦後生まれの「団塊の世代」が高齢期を迎え、また、出生率の低下が一層の拍車をかけ、21世紀半ばには、3人に1人が65歳以上という超高齢化社会の到来が予測される。これからの高齢化社会では、介護が必要とならないように、早い時期からの予防に努めることが大切であり、また、介護が必要になっても住み慣れた地域で地域のやさしさと思いやりに支えられ豊かさを感じながら生きることが大切であります。しかし、平成23年3月末における要介護2～5の認定者は746人のうち、施設に261人が入所している状況である。平成26年度においては、要介護2～5の認定者873人のうち、3施設の入所者は283人となる見込である。入所待機者は、平成26年度において300人超と予測される。</p> <p>(1) 上記のような状況から、裾野市として、早急に特別養護老人ホームの建設が急務であることは承知のことと思いますが、市として、どのように考えているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 施設の建設は、民間の力を借りて進めていくことになると思うが、いつ頃を目途に考えているのか。</p> <p>(3) 市内における在宅介護での人数は何人か。また、この方々の介護度別の人数は。</p> <p>(4) 在宅介護の人たちの中で、特別養護老人ホーム、または、老人保健施設等への希望者は何人ぐらいいるのか。</p>	<p>市 長</p>

<p style="text-align: center;">質 問 議 員 質 問 事 項</p>	<p style="text-align: center;">質 問 の 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">答 弁 要 求 者 職 名</p>
<p>15. 土屋 秀明</p>	<p>(1) 生活しやすい社会か、暮らしやすい裾野市か。(同一目線で見ても)</p> <p>ア 裾野市の高齢者の人口、比率は如何ほどか。県下と比較すると特徴は。将来的に推計するとどうなっていくか。</p> <p>イ おれおれ詐欺や、悪徳商取引などで、被害を受けやすい高齢者を巡るトラブルには、どのような事が多いか。実態を伺う。</p> <p>ウ 高齢者からどのような問い合わせ、苦情、要望が寄せられているか。その中に、年金、医療、保険、介護保険などに関するものは。</p> <p>エ 敬老会ヘルシーパーク利用券の利用割合は。祝い金支給を求める声は。</p> <p>オ 生活しやすい社会か。暮らしやすい裾野市か。高齢者はどう感じているのか。思っているか。</p> <p>(2) 介護保険施設の充足を。</p> <p>ア 市内の介護保険施設の種類ごとの施設数とその定員は。</p> <p>イ 要介護者数は何人か。その内、施設入所待機者数は何人と把握しているか。</p>	<p style="text-align: center;">市 長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 要 求 者 職 名
	<p>ウ 特に希望が多い、特別養護老人ホームへの入所希望者数は。その中で在宅で6ヶ月以内の希望者は。また、必要性が高いと考える希望者は。</p> <p>エ 介護サービスでの基盤となる保健施設は、希望に反して不足している。市はどのような取り組みをしてきたのか。</p> <p>オ 充足に向けて、具体的な計画を伺う。</p> <p>(3) 豊かな生活のためにも、生きがいづくりが重要。</p> <p>ア 現役退職後の豊かな生活を送るための現行施策は。</p> <p>イ 老人会などの組織団体へ加入することを拒む個人が多くなっていると聞くが、その結果心配されることは。</p> <p>ウ 地域活動や文化、スポーツ、ボランティアなどの活動、また、労働などに生きがいを求める人もいるが、生きがいづくりへの取り組みは。</p>	